

「新潟を離れて」

百瀬 敦*

1. はじめに

三菱マテリアル資源開発株式会社新潟営業所は本年度の3月末をもって営業所閉鎖となり、新潟での35年の歴史に幕を閉じました。これに伴い異動となり、現在、さいたま本社の資源調査部に所属しております。5月末まで事務所整理で新潟・埼玉を往復していたため、埼玉に落ち着いてまだ1ヵ月も経っておりませんが、「新潟を離れて」と題しまして、現在、思うところを述べさせていただきます。稚拙な文章であること、ご容赦願います。

2. 県外からみて思う新潟

私は入社当初の3年間を新潟営業所に勤務した後異動となり、平成17年に新潟に戻ってきたため、新潟を離れるのが実は2回目です。県外から新潟を見る機会がよりあった事になりますが、その時に感じた事をいくつか紹介させていただきたいと思います。

私が知る限り新緑の頃の新潟は最高に快適で、重度の花粉症でなければ野山に飛び出しなくなる衝動にかられます。冬も日本海側にしてみれば暖かく、冬場の悪天候さえなければ最高です。一方、埼玉の冬は上州の空っ風の影響で新潟よりえらく寒く感じます。

また、新潟での生活面は恵まれていたと思います。新潟はお米・お酒・海産物などの有名な産物が多いのですが、お米以外の農産物も他県（特に関東）に比べると非常においしい物が揃っていると実感いたします。特に私が思うのは枝豆です。黒崎茶豆はもとより普通の枝豆でも格段に新潟の枝豆はおいしく、いくら食べても飽きません。また値段も安いため毎日食べる事が出来ましたが、こちらではそれも叶いません。

3. 現在の仕事について

当社資源調査部では資源関係や原子力関係など幅広い分野にわたって調査・解析をしています。また、私自身どの方面に重点を置くか決めておりませんが、基本的には資源探査の一手法であるリモートセンシング調査と各地盤調査に従事する予定です。こちらに勤務してみると、同業他社との情報交換の機会が少ないのが残念であります。

私の今後の予定ですが、既に国内では北は北海道から南は四国と各地で仕事することになりそうですので、どこかの現場で皆さんにお会いする機会があるかと思っています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

4. おわりに

新潟応用地質研究会には入社当初から会員として、そして最後の1年間だけ行事担当幹事として参加させていただきました。短い期間ではありましたが、幹事の一員として同業他社が一同に集い年に例会2回と見学会を実施している本会の重要性を再認識した次第であります。これからは個人会員として埼玉より折を見て活動に参加させていただく所存です。最後に、新潟応用地質研究会が益々ご発展されること祈念しております。

*三菱マテリアル資源開発株式会社